

教科 芸術 科

科目	書道Ⅱ	学年・コース	2 学年	地域政策 情報	コース	単位数	2 単位	区分	選択必修
学習の目標		主体的に書道の幅広い創造活動に取り組み、心豊かな生活と社会を創造していく態度を養う。							
教科書		光村図書「書Ⅱ」							
補助教材等									
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間	
1	4	漢字の書 篆書用の筆、文字の形を見る ・「泰山刻石」 篆書の多彩な表情を捉える			<ul style="list-style-type: none"> 文字を書く目的や用途、表現形式が、時代によって変化してきたことを理解させる。 漢字の書体の変遷について、理解を深めさせる。 各古典の書風(線質や字形など)を比較し、表現の効果を感じ取らせる。 篆書の鑑賞・臨書を通して特徴を捉え、書体に即した用筆・運筆を理解させる。 隷書の鑑賞・臨書を通して特徴を捉え、書体に即した用筆・運筆を理解させる。 暑中お見舞いを書き、生活社会の書道に触れる。 			2	
	5	・「石鼓文」 隷書用の筆、文字の形を見る ・「乙瑛碑」						4	
	6	隷書の多彩な表情を捉える ・「曹全碑」						4	
	7	・はがきの書き方						5	
	8	篆刻 姓名印を篆刻しよう3cm×3cm(白文か朱文)						5	
	9	印稿を作成、布字、運刀						4	
	10	制作した姓名印を押印し、篆刻作品集を作る						8	
2	11	仮名の書の美に親しむ 古筆の美を味わう 連綿と墨継ぎによる表現の美を感じる			<ul style="list-style-type: none"> 作品制作するなかで、篆刻の楽しさや作品を制作する充実感や達成感を感じ取らせる。 友だちの作品を鑑賞し、多様な篆刻作品を楽しみ、その違いや知見を広げる。 			5	
	12	・「高野切第一種」 仮名の組み合わせによる表現の美を味わう			<ul style="list-style-type: none"> 「かな」の成り立ちを知り、「高野切」の臨書を通じて墨の潤滑、濃淡の表現を身につける。 			5	
	1	草書・行書の用筆を学ぶ ・「王鐸」「張瑞図」「吳昌碩」「王羲之」らの作品を鑑賞し、臨書作品を制作しよう			<ul style="list-style-type: none"> 「十七帖」「赤壁之附」などの鑑賞・臨書を通して行草書の特徴を捉え、書体に即した用筆や運筆を理解させる。 			5	
3	2	半切作品の制作			<ul style="list-style-type: none"> 書かれた時代や書き手の個性による行草書の多彩な表現を感じ取らせる。 			4	
	3	・2学期に制作した落款を用いて臨書作品を制作する			<ul style="list-style-type: none"> 古典の特徴を捉え、臨書作品を制作するなかで、制作の楽しさを感じる。 			4	
評価の観点	知識・技能		創造的な書の表現をするために必要な技術を身につけているか。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、表しているか。						
	思考・判断・表現		造形的な良さや美しさを考えているか。表現の意図があるか。 創造的な工夫をしているか。発想力、構想力があるか。						
	主体的に学習に取り組む態度		書道や書文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の活動に取り組んでいるか。 用意や後片付けまで責任を持ってきちんと行っているか。						